

## 令和7年度 第4回 葵西小学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和8年2月13日(金) 午後2時00分から午後3時45分まで
- 2 開催場所 葵西小学校 2階 会議室
- 3 出席委員 長谷川 良樹、古山 照美、辻岡 和代、宮本 礼子
- 4 欠席委員 石井 朋子、三好 千恵、村井 レティシア
- 5 オブザーバー 鈴木 克隆(北部協働センター)
- 6 学 校 水野 希樹(校長)、袴田 暁広(教頭)、石原 勝行(教務主任)  
廣瀬 高志(生徒指導主任)、工藤 敬子(CSディレクター)
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 工藤 敬子
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、長谷川委員から辻岡委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 10 協議事項

- (1)本校児童の学習・生活について
- (2)学校評価の結果を受けて
- (3)令和8年度学校運営の基本方針の承認
- (4)学校運営協議会の自己評価

### 11 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち4人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1)本校児童の学習・生活について

議長の指示により、生徒指導主任から、子供たちの様子、いじめ防止対応について報告があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 地域での朝の挨拶の際、髪型が大きく変化した子供を見かけた。急な変化から、本人に何らかの事情や自己主張の意図があるのだろうかと感じた。(長谷川委員)
- ・ 過去に、夏休み中に髪を染めた子供に話を聞いてみたら、保護者と本人の意向が必ずしも一致しない事例もあった。外見の変化は自己防衛の表れである可能性もあり、多様な自己表現として受け止めてきた。(古山委員)
- ・ 中体連では染髪は認められておらず、部員に該当者がいる場合は大会に出場できない。そのため、退部や染めた色を戻して対応した事例を聞いた。(宮本委員)
- ・ いじめ防止教育のアンケートを、複数回にわたって丁寧に実施・確認していただきありがたい。保護者として安心している。(宮本委員)

- ・ アンケートの実施過程や先生方の温かな声掛け・環境作りから、学校の丁寧な対応が伝わってくる。これらの取組が、児童が安心して登校できることにつながっていると感じた。(辻岡委員)

## (2) 学校評価の結果を受けて

議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づき、学校評価アンケートの結果と考察が提案され、協議が行われた。自己肯定感の低さという課題がある一方で、いじめ防止の取組の有効性や、経年変化を追った数値の向上傾向が学校の成果として評価された。また、自由記述の公開や書きやすい環境づくりの重要性が指摘され、児童が自らの成長を振り返り多様な学びの中で自己有能感を高めている様子が確認された。委員からは以下の発言があった。

- ・ 4年間の数値推移では「できた」が90%を超える項目や、年々数値が向上している項目もあり、学校の取組の成果として評価できる。「命について考える日」や「いじめ撲滅集会」など非常にいいことなので継続してほしい。自己肯定感の低さが課題ということだったが、アンケートの自由記述には児童一人一人の前向きな成長の声が見られた。(宮本委員)
  - ・ 「成長した」「できるようになった」と書くことで、成長を自覚できる。「できるようになったこと」の記述について、学年やクラスによる傾向差があるのか。記述内容からは特定の学年に偏ることなく、どの学年の児童も振り返りができている印象であり、高学年でも、遠慮せず自分の成長について十分に自己を振り返ることができていると感じた。自己有能感の向上が、中学校や社会に自信を持って出ていけることにつながるとの期待がある。(辻岡委員)
  - ・ 自由記述の内容を児童や保護者が閲覧できるのか。自由記述の公開は、児童や保護者に「この程度でも書いてよい」という安心感を与える効果がある。素直な成長の記録として、多くの人に見てもらいたい価値がある。(古山委員)
  - ・ 自由記述の書き方に安心材料があると保護者は記入しやすくなる。(辻岡委員)
  - ・ 児童がよく考え、自由記述でも十分に意見を表明できていることに感心した。一方で、教員との関係性が児童の学校生活に影響すると感じる。(長谷川委員)
  - ・ 多様な人から学び、自ら考える力を育てることが重要だと感じる。(辻岡委員)
- 自由記述から児童がどのような視点で喜びを感じているか改めて理解できる。

保護者アンケートの設問を4年前に見直し「よかったこと・続けてほしいこと」を問う形式に変更した結果、前向きな意見が増え、学校や教職員の励みになっている。保護者が学校の取組をよく見ていることが分かり、本当にありがたい。(学校)

## (3) 令和8年度学校運営の基本方針の承認

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき学校経営方針について説明があり、「安心・

安全」を基盤に安定した学校経営を継続し、必要な手立ては積極的に講じていく旨が提案された。委員からは以下の発言があった。

- ・ これまでの取組を土台に基本方針は維持しつつ必要な手立てを見直していくことや、子供の見取りや重視事項について理解した。(辻岡委員)
  - ・ ICT・タブレット活用について。子供によって得た知識量に差が見られる事例がある。家庭での使い方や保護者の関わり方によって差が生じているのではないか。(長谷川委員)
  - ・ タブレットは子供にとって学びを深める有効なツールになり得る。(辻岡委員)
- タブレットは使い方次第で効果が大きく変わるため、難しさがある。特に持ち帰り時の利用について、明確なルールづくりが必要であると認識している。(学校)

協議の結果、学校運営方針について、委員全員の挙手により承認された。

#### (4)学校運営協議会の自己評価

議長の指示により、会長の長谷川委員から、事前に委員から集約した意見をまとめた自己評価案について説明があり、一同承認した。

#### その他報告事項等

- ・ 夢育やらまいか事業(CS 加算分)について、教頭から報告があった。
- ・ 来年度の委員について教頭から報告があり、退任委員の挨拶があった。
- ・ 来年度の協議会は、本年度同様年 4 回開催する予定である。

第1回 令和8年5月8日(金)14時～16時 葵西小学校 2階 会議室